

研修会報告

2016年9月27日

研修会テーマ「CLSI・EUCASTの概要と研究発表&総合討論」

開催日時：2016年9月24日（土）13:30～17:00

会場：東北大学 医学部 保健学科 1階 大講義室

司会：大崎市民病院 感染管理部 大石貴幸

参加者：会員参加者 18名 非会員 1名 賛助会員 6名 学生 0名 講師 6名 実務委員 5名 計 36名

教育点数：専門 20点

講演 1：CLSI M100-S26 と EUCAST Clinical breakpoints V6.0 の概要と相違

ベックマン・コールター株式会社 高相 道忠 先生

講演 2：*Listeria monocytogenes* による感染性心内膜炎が疑われた一例

大崎市民病院 臨床検査技術部 甲谷 由香里 先生

講演 3：血液培養陽性液のグラム染色における *Streptococcus* 属と *Enterococcus* 属の形態学的鑑別

石巻赤十字病院 検査部 尾池 泰典 先生

講演 4：*Haemophilus influenzae* 薬剤感受性測定用培地変更による感受性成績の変化

東北労災病院 中央検査部 真崎 純子 先生

講演 5：当院の血液培養分離菌の内訳

宮城厚生協会坂総合クリニック 検査室 今野 牧子 先生

講演 6：当院における血液培養複数セット採取率の検討

仙台厚生病院 臨床検査技師長 千葉 潤一 先生

総合討論

概要

今年度、第1回目の微生物部門研修会は、例年恒例の CLSI 変更点の解説と、これまでに企画されていなかった CLSI と EUCAST との相違について、ベックマン・コールター株式会社の高相道忠先生にご講演いただいた。日本では CLSI を採用している施設が多いが、より臨床に即しているのは EUCAST であることがレクチャーされた。また、将来的にはこの 2 つが統一される方向性であることも示され、臨床現場におけるジレンマの解消に近いことは光明であった。

今回、新しい試みとして県内の微生物検査技師による自施設での研究を発表していただいた。臨床検査技師として常の業務に密着した身近なテーマが多く、参加者の共感を得るには十分な演題であった。発表後の総合討論では、残念ながら意見を発言する参加者は少なかったが、各演者には発表では伝えきれなかったことを発言いただき、有意義な時間となった。

最後に、参加者が少なかったのは残念であった。土曜日の開催だと出勤している会員がいるため、参加率が低下する可能性があるかと推察された。今後は日曜開催も検討する必要がある。

微生物部門 部門長 大石貴幸